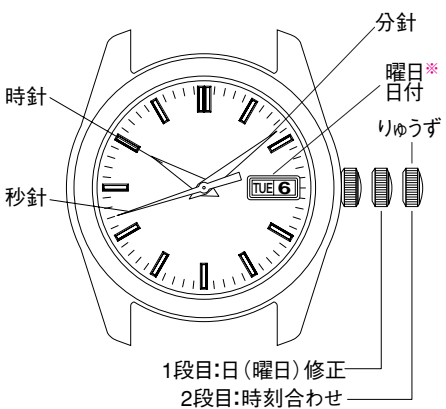


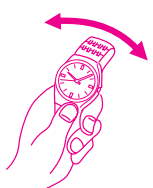
■各部の名称とはたらき



※機種により、曜日のないものもあります。

■自動巻き式機械時計の取扱いかた

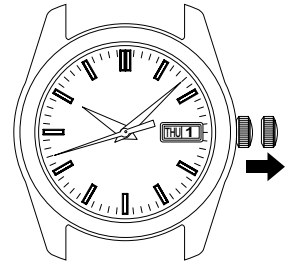
- ①この時計は、自動巻き式機械時計(手巻き無し)です。
- ②ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
- ③止まっている時計をお使いになるときは、時計を振って時計を始動させてください。秒針が動きだしたら日付と時刻を合わせて腕に着けてください。



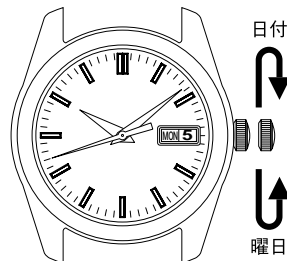
- ④この時計は、ゼンマイが十分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。(ゼンマイの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯することをおすすめします。)

■時刻と日付(曜日)の合わせかた

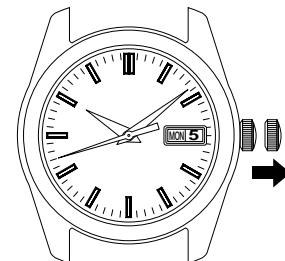
※午前・午後を間違えないように合わせてください。(日付は24時間に1度変わるように設定されています。)
※機械時計は、クォーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL117が便利です。



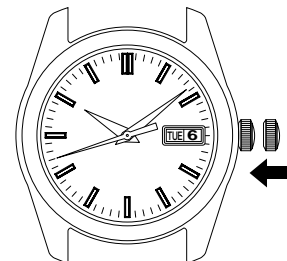
- ①りゅうずを一段引き出します。
※この時計のりゅうずは2段引くことができます。



- ②りゅうずを回して日付(曜日)を前日の日付(曜日)にセットします。
※曜日は日本語・英語お好みの方に合わせてください。
例)今日が6日(火)の場合は5日(月)にセットします。



- ③りゅうずを2段目まで引き出して、今日の日付になるまで針をまわして、現在の時刻に合わせてください。
※秒針は止まりません。



- ④りゅうずを押し込んでください。

●月末の日付修正について
2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

例:小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合
①「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを一段目に引き出してください。

②りゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。

※時計の針が午後9時から午前4時までの間は、日修正は避けてください。
この時間帯に日付を合わせると、翌日になって日付が変わらないことがあります。

■使用上の注意とお手入れの方法

△注意

●日常のお手入れ

- ・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にご使用ください。
- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- ・すきま(金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど)の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
- ・海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
- ・りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。(りゅうずを引く必要はありません)

〈金属バンド〉

・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

〈皮革バンド〉

・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするよう拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈軟質プラスチックバンド〉

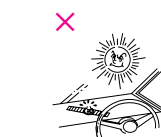
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなったり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数ヶ月のご使用で起こり始める場合があります。湿気が多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておく、早く変化することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によっては変質することがあります。

△注意

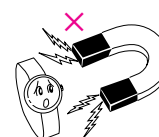
●かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられるのは、
 1. 金属・皮革に対するアレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

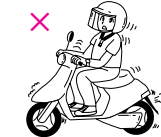
●保管について



- ・「-5℃～+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は常温(5℃～35℃の範囲内)で腕に付けた時に安定した精度を得られるように調整してあります。従って温度によって多少の進みや遅れが生ずることがありますが、常温に戻ればもとの精度に戻ります。



- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。



- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。(薬品の例:ベンゼン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するものーガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤などー水銀、ヨウ素系消毒液など)
- ・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。



△注意

●防水性能

- ・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水	5気圧防水	○	○	×	×
	10・15・20気圧防水	○	○	○	×

- ・水分のついたままりゅうずを回したり引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。
- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めます。
- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

△警告

- ・日常生活用防水(3気圧)の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水(5気圧)の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水(10・20気圧)の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

●その他、携帯上ご注意ください

- ・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

△注意

- ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手などを傷つけたり首を絞めたりする事がありますのでご注意ください。

●定期点検について

- ・長くご愛用いただくために、2～3年に一度程度の分解掃除による点検調整(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整(オーバーホール)を、お買い上げ店にご指定ください。部品交換のときは、「純正部品」とご指定ください。分解掃除による点検調整(オーバーホール)の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■ルミブライトについて

「お買い上げの時計がルミブライトつきの場合」

- ・ルミブライトは放射性物質等を全て含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質を使用しています。ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3～5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

■製品仕様

1. 機能……………Y675:3針(時、分、秒)・日
Y676:3針(時、分、秒)・日・曜日・表示
 2. 振動数……………21,600振動/1時間
 3. 精度……………日差+45秒～-35秒(気温5℃～35℃において腕につけた場合)
 4. 駆動方式…………ゼンマイ巻 [自動巻]
 5. 使用石数…………21石
- 注) 機械時計の特性上、ご使用になる条件(携帯時間、腕の動き、ゼンマイの巻き上げ具合等)によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。

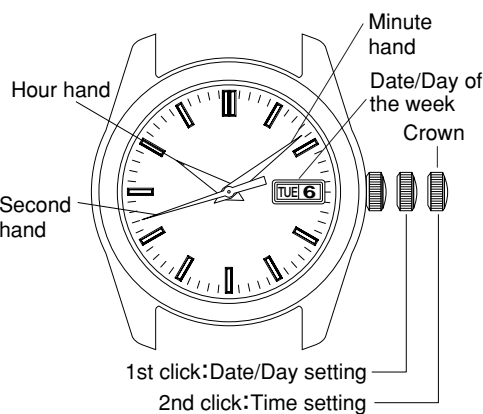
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■修理について

- ・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。保証内容は、保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。
- ・この時計の修理用部品の保有期間は通常7年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
- ・修理可能な期間をご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。また、ケースごとの一式交換や代替品に替わることもありますので、併せてご了承ください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店で承っております。なお、ご不明の点は「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談室」にお問い合わせください。

このたびは弊社アルバウォッチをお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し必要に応じてご覧ください。

■DISPLAY AND CROWN OPERATION



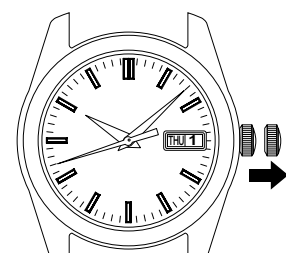
■HOW TO USE

- ① This is an automatic mechanical watch.
- ② If the watch is worn on the wrist, the mainspring will be wound automatically through normal wrist movement.
- ③ To start the watch after it stops completely, wind it up by swinging it from side to side until the second hand starts moving. Then, set the time and date before wearing the watch on the wrist.
- ④ Once the watch is wound up fully, it operates for about 40 hours. (If the watch is used without being wound up fully, gain or loss of the watch may result. To avoid this, it is recommended that you wear the watch daily for more than 8 hours.)

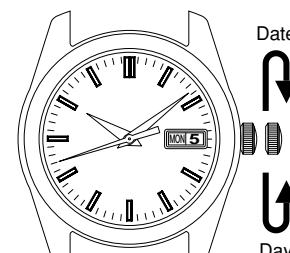


■HOW TO SET THE TIME AND DATE (DAY OF THE WEEK)

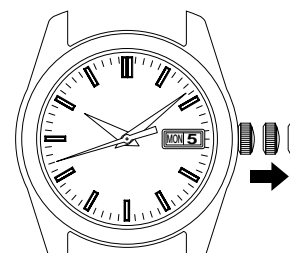
※While setting the time, be sure to check that the correct A.M. or P.M. period is set.
 ※The mechanism of mechanical watches is different from that of quartz watches. When setting the time, be sure to turn back the minute hand a little behind the desired time and then advance it to the exact time.
 ※Telephone time casting service (tel.117) might be helpful when you set the time.



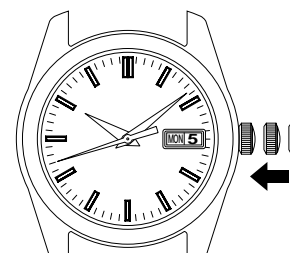
① Pull the crown to the first click.
 ※The crown can be pulled out all the way to the second click.



② The date(day) can be set by turning the crown. Turn it until the previous day's date(day) appears.
 ※Day of the week can be displayed either in Japanese or English by your choice.
 Ex.: If Today is the 6th(Tuesday) of the month, first set the date(day) to "5" and "Monday" by turning the crown.



③ Pull the crown out to the second click, and turn the hands to set the correct date.
 ※The second hand does not stop.



④ Push in the crown.

●Date adjustment at the end of the month

It is necessary to adjust the date at the end of February and 30-day months.

- Ex.): To adjust the date in the A.M. period on the first day of a month following a 30-day month.
- ① The watch displays "31" instead of "1". Pull out the crown to the first click.
 - ② Turn the crown clockwise to set the date to "1", and then, push the crown back in to the normal position.

※Do not set the date when the hands are pointing to the time between 9 P.M. and 4 A.M. If the setting of the date is made when the hands are pointing to the time between 9 P.M. and 1 A.M., the date will not change to the next date.

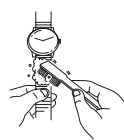
■TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH



●CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underwear. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- Please wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth.
- To clean the clearances (around the metal bracelet, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)

METAL BRACELET



- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water. If your watch is not water-resistant, be careful not to get the case wet when cleaning.

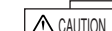
LEATHER BAND



- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

SOFT PLASTIC BRACELET

- If your watch has a soft plastic band such as urethane band, do not leave the watch under a fluorescent lamp or direct sunlight for a long time, or do not leave the band soiled. Otherwise, the band may be discolored, hardened or broken. Also, do not keep the watch in a place where it is exposed to high humidity, or do not leave the band wet with perspiration or water. Otherwise, the band may be discolored in a very short time. When the band is soiled, rinse it in soapy water. Do not use solvents for cleaning as some solvents may deteriorate the band. If your watch has a semitransparent urethane band, which is easily discolored, special care should be taken to keep it clean. Depending on the condition of use, the semitransparent band may be discolored after several months of use.



●RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet or band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible causes of the rash are as follows:
 1. Allergy to metals or leathers
 2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

弊社製品について、修理その他のご相談は、「お買い上げ店」でうけたまわっております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

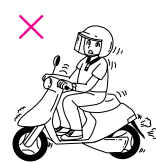
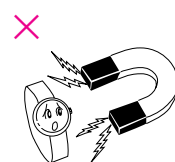
全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**

お客様相談室
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル
 〒550-0013 大阪府西区新町1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区芝浦1-2-1
<http://www.seiko-watch.co.jp/>

●PLACES TO KEEP YOUR WATCH



- If the watch is left in a temperature below -5°C or above +50°C for a long time it may function improperly or stop operating.
- This watch is so adjusted that it will maintain stable time accuracy in normal temperatures. (5°C~35°C) It will lose or gain slightly, but it will regain high time accuracy when it returns to normal temperature.

- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.

- Do not expose the watch to gases or chemicals. (Ex.: Organic solvents such as benzene and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.



●WATER RESISTANCE

- Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.

"WATER RESISTANT" is not inscribed on the back of your watch case.	×	×	×	×	×	×
"WATER RESISTANT" is inscribed on the back of your watch case.	○	×	×	×	×	×
"WATER RESISTANT 5 · 10 · 15 · 20 BAR.", "WATER RESISTANT" and marks inscribed on the back of your watch case.	5 BAR.	○	○	×	×	×
	10 · 15 · 20 BAR	○	○	○	×	×

- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.
- Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
- Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
- Do not pour running water directly from faucet. The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.



- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

■LUMIBRITE

[IF YOUR WATCH HAS LUMIBRITE]

- LumiBrite uses externally-energized luminous material which doesn't contain any radioactive substance. LumiBrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark. For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 3 to 5 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

■SPECIFICATIONS

1. Time indication.....Y675: 3 hands (hour, minute and second hands) with date
 Y676: 3 hands (hour, minute and second hands) with date and day of the week
 2. Vibrations per hour21,600/h
 3. Loss/gain.....Daily rate: +45 seconds ~ -35 seconds (in temperatures of between 5°C and 35°C on your wrist)
 4. Driving systemSelf-winding type
 5. Jewels used21 jewels
- * Due to the mechanism of mechanical watches, actual loss/gain may not fall within the range of time accuracy specified above, depending on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, life style (whether much arm movement is involved or not), etc.
- * The above specifications are subject to change without notice, for product improvement.

■AFTER-SALE SERVICE

- If the watch requires service, take it to the retailer from whom the watch was purchased. If the trouble occurs within the guarantee period, submit the certificate of guarantee together with the watch. Guarantee coverage is spelled out in the certificate of guarantee. Please read it carefully and keep the certificate for ready.
- SEIKO makes it a policy to usually keep a stock of spare parts for its watches for 7 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally.
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the condition under which used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Depending on the condition of the watch, the complete set of the watch body may be replaced with a new one or substitute product.
- For repair after guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom the watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.



- If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

●PERIODIC CHECK

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 2 to 3 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.